



喜多流 自主公演

平成二十八年 二月

巻 八

絹 島

友 枝

内 田
昭 世
成 信

平成28年 2月28日(日)

12:00 開演 (11:00 開場)

十四世喜多六平太記念能楽堂

料金:全席指定(税込)

S席 9,000円 A席 8,000円 B席 7,000円

C席(1階杖敷席) 6,500円 D席(2階席) 6,500円

学生席(2階席) 2,500円 (25歳以下、要学生証提示)

・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。
お気軽にご参加ください。

・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

主催 公益財団法人 十四世六平太記念財団 協力 喜多流職分会

チケット予約購入のご案内

インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>

(24時間対応、要登録・無料)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

② 喜多能楽堂事務局 窓口

クレジットカードでお支払いの上(ホームページでのweb決済)、ご予約の際に画面に表示された番号を窓口にご提示いただき、チケットをお受取りください。現金でのお支払いはできません。

電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813

(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

② 郵送

チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

③ 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際お伝えした番号を窓口にご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金のみとなります。

窓口

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813

(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

お支払いは現金のみとなります。

※お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。

ご予約の際ご案内いたします。

※平成27年度公演の後半5回分は発売中です。

28年度前半5回分は平成28年2月1日午前10:00より発売します。

※ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

ご注意

- ・開演中の途中入場はお断りいたします。
- ・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・ロビー・見所でのご飲食はできません。2階ラウンジをご利用ください。
- ・喜多能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。コインロッカーもご利用ください。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

喜多流自主公演年間優待券

5枚綴り 35,000円

- ・ご希望のどの席種でもお選びいただけるお得な年間優待券です。
- ・お求めは喜多能楽堂事務局まで。各喜多流職分でも承ります。(平成28年度優待券は平成28年1月10日より販売いたします。)
- ・ご観能の際は別途チケットをご予約ください。追加料金はかかりません。ご予約は、インターネット、電話、窓口で承ります。年間優待券のみでの観能はできません。ご入場の際は、年間優待券とチケットをご提示いただけます。
- ・ご利用は、表記年度中(4月～3月)の喜多流自主公演のみ有効です。青年能には使用できません。

自主公演観客席御案内



S席	9,000円	C席(1階杖敷席)	6,500円
A席	8,000円	D席(2階席)	6,500円
B席	7,000円	学生席(2階席)	2,500円

会場案内図



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。

※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車のご来場はご遠慮願います。

十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

TEL: 03-3491-8813 FAX: 03-3491-8999

喜多能楽堂ホームページ: <http://kita-noh.com/>

二月自主公演番組

能

シテ連・男 佐藤 陽
後シテ・源義経の霊
前シテ・漁翁 内田 成信

八島

ワキ・旅僧 御厨 誠吾
ワキ連・從僧 則久 英志
ワキ連・從僧 梅村 昌功
アイ・屋島の浦人 三宅 右矩

大鼓 原岡 一之
小鼓 住駒 充彦
笛 杉信 太朗

狂言

宗八

シテ・惣八 三宅 近成
アド・主 高澤 祐介
小アド・僧 三宅 右矩

後見 内田 安信
金子 匡一
地謡 塩津 圭介
友枝 雄人 大村 定
高林 呻二 出雲 康雅
友枝 真也 中村 邦生

休憩(二十分)

仕舞

笠之段

大村 定
地謡 佐藤 章雄
松井 彬
大島 政允
大島 輝久

玉之段

出雲 康雅
地謡 高林 昌司
粟谷 能夫
粟谷 幸雄
谷 友矩

能

シテ連・男 狩野 了一
シテ・巫女 友枝 昭世

卷絹

ワキ・臣下 宝生 欣哉
大鼓 亀井 広忠
小鼓 曾和 正博
太鼓 三島 元太郎
一噌 幸弘
アイ・太刀持 前田 晃一

後見 香川 靖嗣
塩津 哲生

地謡 佐藤 寛泰
佐々木 多門 粟谷 充雄
粟谷 浩之 長島 茂
大島 輝久 粟谷 明生
金子 敬一郎

— 終了予定 午後四時頃 —

八島(やしま)

旅僧が西国行脚にと讃岐国屋島へ赴く。釣りを終えて帰ってきた漁翁に僧は、一夜の宿を乞う。そして僧が都の者だとわかると、漁翁は源平合戦の話をする。頃は元暦元年三月十八日で、凛々しい義経の勇姿、悪七兵衛景清と三保谷四郎の兜の鍔引きや、佐藤継信と菊王の壮烈な戦のふるまいを話し、自分が義経であるかのようにほめかして消える。八中入V。そして夜半過ぎになると、義経の霊が現れて八島の合戦の話をする。義経は海中に弓を取り落としたが、名譽のために命を賭けて取り戻したと、また修羅道の闘いの様をしめし、夜が明けるとともに消え失せていく。

(一時間三十五分)

宗八(そうはち)

ある人が出家と料理人を抱えると立て札を出す。もと料理人で最近僧になった者と、僧侶から料理人になった惣八が抱えられる。

主人から、僧には経の説話を、惣八には料理を命じられるも、にわか坊主と料理人のため二人は戸惑ってしまふ。話合いの結果、お互いがもとの仕事を教え合うことにするが、主人に見つかってしまった。(約二十分)

卷絹(まききぬ)

時の帝の夢想によって、紀州の三熊野神社へ千疋の卷絹を奉納するため諸国へ調進を命ぜられたところ、京の都からの分がまだ届かない。上納品を携えた都の男が熊野に着いてます音無の天神社へ参り、咲き匂う冬梅の香を賞でて一首の歌を詠んでいた為に遅参したのである。官人はその男を縛って罪を責める。すると、音無の天神の霊が乗り移った巫女が現れ、この男は昨日自分に歌を捧げた者であると言つて男の縄を解くよう命じる。臣下はこのような男に歌が詠めるわけがないと疑うので巫女は男に上の句を、巫女が下の句をつけて証明し縄を解く。そして巫女は和歌の徳や神仏の威力を説き、祝詞を上げ神楽を奏するうちに神がかりとなり、狂い舞つて舞の手を尽くし、時が経つと神気が離れて本性にかえる。(約一時間)

平成二十八年 三月 自主公演番組予告

平成二十八年 三月二十七日(日) 正午始
十四世喜多六平太記念能楽堂

籠 佐々木 多門
湯谷 谷 大作
昭君 大村 定